

●行為の制限に関する事項の概要

屋上附帯物

高架水槽及び屋上設備は、敷地の外から見える位置に配置しない。やむを得ず見える位置に配置する場合は、ルーバーを設置し、又は建築物と一体化するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

屋上工作物及び塔屋等は、建築物と一体化するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

色彩

外壁及び屋根等の基調となる色彩は、著しく派手なものとしな

- ・山並み・緑地軸では、背景となる山並みと調和させること。
- ・湾岸軸では、海辺の景観と調和させること。
- ・歴史軸では、歴史的資源や伝統的なまちなみに配慮すること。

外壁

長大な壁面等は、適切な緑化や分節等により、単調にならないような工夫をする。

- ・湾岸軸では、凹凸化、アクセントとなる色彩の使用なども考慮すること。
- ・河川軸、湾岸軸では、対岸等からの見え方やスカイラインに配慮すること。
- ・山並み・緑地軸では、背景となる山並みに配慮すること。

意匠

周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠としない。

- ・歴史軸では、歴史的資源や伝統的なまちなみに配慮すること。

外壁附帯物

ダクト類は、敷地の外から見えにくい位置に配置し、又は建築物と一体化するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

屋外階段は、建築物と一体化するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

エアコンの室外機及び物干金物等は、敷地の外から見える位置に配置しない。やむを得ず見える位置に配置する場合は、見苦しくならないような工夫をする。

屋外附帯物

駐車場、駐輪場及びごみ置場等を敷地の外から見える場所に配置する場合は、植栽により修景し、又は建築物若しくは塀と一体化するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

湾岸軸で受水槽、変電設備、プラント設備及び資材置き場等を設ける場合は、できる限り道路、親水空間等の公共の場所から目立ちにくい位置に配置し、又は植栽等により遮蔽するなどにより、見苦しくならないような工夫をする。

敷地内の緑化

道路、水辺に面する敷際には、緑を適切に配置する。  
緑の配置に際しては、周辺における緑のなじみ及び連続性並びに安全面等に配慮の上、植栽する樹木の位置、種類及び形状並びに壁面緑化その他の緑化手法等を検討する。



※歴史軸の重点区域では、よりきめ細やかな配慮が必要です。

【山中宿地区に適用】

色彩：外壁、屋根及びシャッター等の基調となる色彩は、派手なものとはせず、白、黒、灰色等の無彩色や濃茶等周辺の伝統的なまちなみに調和したものとする。

外壁：壁面の位置、外壁の仕上げ、開口部などは周辺の建築物との連続性に配慮する。  
木、石、漆喰などの伝統的素材、又はそれらと調和するものとする

屋根：原則、勾配屋根とするとともに、1階部分には、庇を設けるなど、周辺のまちなみとの連続性に配慮する。

意匠：伝統的様式（格子戸、むしこ窓等）、又はそれらと調和するものとする。

屋外広告物：建築物や周辺の伝統的なまちなみと調和したもので、必要最小限の大きさ・数量とするよう努める。

□工作物の行為の制限に関する事項

上記事項のうち、「色彩（湾岸軸では、タンク等は色彩緩和可）」「外壁」「意匠」「敷地内の緑化」とする。